

松浦川のアザメの瀬では、氾濫原としての機能を持つ湿地の再生や人と生物のふれあいの再生を目指し、自然再生事業として平成15年度に事業着手し、平成22年度に事業が完了しました。

アザメの瀬の整備に関しては2つの目標を立て、これらを達成するため「順応的管理」と「徹底した住民参画」にこだわりをもって進めてきました。リファレンスが無くデータや知見が不足し、すべてにおいて手探りで進めるなか、地域の方々や大学等の研究者の協力、さらに施工業者の創意工夫など多くの関係者による協働により完成しました。

目標1. 河川の氾濫原的湿地の再生
河川の氾濫原的湿地として「アザメの瀬」を検証するために、求められる5つの機能を設定のうえ、モニタリング・評価を行ってきました。
<求められる5つの機能> ①魚類の産卵場・生育の場としての機能 ②出水時における魚類の避難場としての機能 ③湿性地の植物による魚類や底生動物の生息基盤としての機能 ④湿性植物の良好な生育場としての機能 ⑤多様な種が生育・生息する豊かな生態系の場としての機能

魚類についてはアザメの瀬での産卵、生育・避難場としての利用などが確認され、求められる5つの機能が概ね発揮されています。

目標2. 人と生物のふれあいの再生

アザメの瀬自然再生事業をバックアップするための自治組織であるアザメの会が組織され、松浦川での自然体験や田んぼの楽校で採れた米、子供達が採った地魚を使った食育などを通じて子供たちとの交流を図っています。これら各種イベントには、子供たちの母親や婦人会の方々、大学生も加わり、人と生物、人と人とのふれあいも活発に行われています。

利活用や維持管理については、地域が主体的に実施していますが、参加メンバーの固定化、高齢化などで持続可能な利活用や維持管理面の再考が必要となっています。

今後も引き続き地域との対話を通じてアザメの瀬の利活用を図っていききたいと考えています。

国土交通省九州地方整備局
河川部 河川環境課長 宮成 秀一郎



アザメの瀬

Information & news

ARRC と読者を結ぶ広場

「河川生態学」の実習を行いました

「環境が異なる河道区間で魚類群集構造はどう異なるのか?」と題して学生を対象に実習が行われました。

河道の形や水際の構造が異なる6つの河道区間での現地調査から種の同定、データ解析から区間における生物多様性の違いについて、河道区間の環境の特徴や魚類の生態特性を踏まえた考察に至るまで、一連の流れを学ぶことができました。



セミナーを開催しました

2010年11月の第1回に続き、第2回「流域からの流出土砂が河川に及ぼす影響」セミナーが開催されました。今回は池田宏先生、藤田正治先生、堤大三先生をお招きしました。模型実験もあり、流出土砂やそれらが河川地形に及ぼす影響について今後研究を始めた方などにも分かりやすく、ご講演いただきました。(ホームページより一部動画がご覧いただけます)



独立行政法人 土木研究所
自然共生研究センター
AQUA RESTORATION RESEARCH CENTER
Incorporated Administrative Agency Public Works Research Institute

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町官有地無番地
Tel 0586-89-6036 Fax 0586-89-6039
<http://www.pwri.go.jp/team/kyousei/jpn/index.htm>

視察・見学のご案内

自然共生研究センターは、どなたでも自由に視察・見学することができます。皆さん、ぜひお越しください。

視察・見学をご希望の場合 所定の申込書で受付致しますので、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

電話ご利用の場合

その折、申込の方法についてご案内します。

Tel 0586-89-6036

インターネットご利用の場合

ホームページの申込書をご利用ください。

<http://www.pwri.go.jp/team/kyousei/jpn/index.htm>

メールご利用の場合

申込書を添付・送信いたします。

E-mail: kyousei4@pwri.go.jp

技術相談 受付中

自然共生研究センターでは、河川環境の保全・復元に関する技術相談を随時受け付けています。

技術相談可能なカテゴリ一例は以下の通りです。

多自然川づくりに関する技術相談

自然再生事業に関する技術相談

正常流量に関する技術相談

ダム下流域の生態系評価に関する技術相談

机上での相談だけでなく現場での対応も可能な場合がありますので、ご相談ください。

自然共生研究センターの英訳は、Aqua Restoration Research Center 略してARRC。この略称の発音が期せずしてNoah's ark(ノアの方舟)と同じになった。

交通のご案内

自動車をご利用の場合

東海北陸自動車道「岐阜各務原IC」より約20分、または「一宮木曾川IC」より約20分。

●研究棟へは河川環境楽園内オアシスパーク西口駐車場(徒歩3分)が便利です。
●川島PAハイウェイオアシスより徒歩5~10分程で来ることが可能です。

電車をご利用の場合

名鉄名古屋駅から名鉄笠松駅へ。駅からはいずれかの方法でお越し下さい。

①名鉄笠松駅からタクシーで約10分(河川環境楽園西口駐車場とお伝えください)
②名鉄笠松駅から笠松町民バスで約15分「スポーツ交流館前」下車。バス停より徒歩約15分
岐阜駅(JR・名鉄)から岐阜バスで約30分、川島前渡線川島松倉行き「江川」下車。バス停より徒歩約15分

